

平成27年度に樹立・策定する富士森林計画区の概要

1 森林計画区の概要



世界文化遺産の富士山と浅木塚方面から
見た国有林（裾野市）

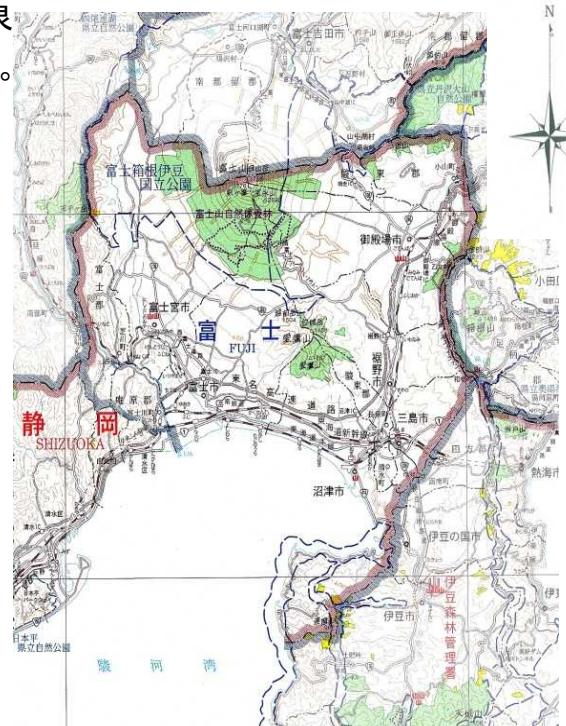


富士山大沢カラマツ・イラモミ・ウラジロモミ
群落林木遺伝資源保存林（富士宮市）

ア 位置

当計画区は静岡県の東部に位置し、沼津市、裾野市、御殿場市、富士市、富士宮市、三島市、小山町、長泉町、清水町に所在する国有林17千haが計画の対象です。

富士森林計画区の国有林野位置図



イ 国有林の特徴

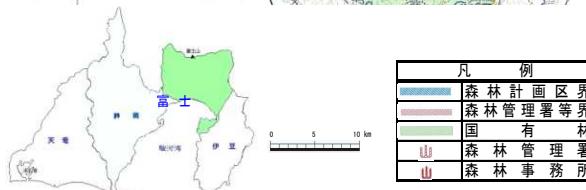
- 当計画区は、世界文化遺産に登録された富士山の南面に広がる森林を含み、優れた自然景観をもつ世界的観光地として、気軽に森林や自然にふれあえる保健休養の場を提供しています。
- 当計画区は、富士山の大沢崩れや東部の火山噴火物（スコリア）堆積地などの侵食や崩壊地が多い地域であり、下流域を土石流災害から守るため、継続的に治山事業を実施しています。
- 当計画区は、ニホンジカ等による植栽木の食害やニホンジカ、ツキノワグマによる剥皮被害が発生しており、特にニホンジカによる食害については関係機関と連携を図りながら獣害防止対策に努めています。

ウ 森林資源の状況

人工林面積は9千ha、天然林面積は6千haです。

人工林（面積割合）は主に、ヒノキ(59%)、ウラジロモミ(19%)、カラマツ(6%)、スギ(4%)で、21～40年生が22%、41年生以上が69%となっており、資源の充実とともに利用期を迎えた林分が多くあります。

天然林は、亜高山帯ではダケカンバ、コメツガが、山地帯ではブナなどが分布しています。



2 現行計画の概要

ア 保護林

保護林	8箇所	2,535ha
-----	-----	---------



イ レクリエーションの森

自然休養林	1箇所	1,765ha
-------	-----	---------

ウ 国民参加の森林づくり

ふれあいの森	4箇所	20ha
社会貢献の森	5箇所	16ha
遊々の森	1箇所	3ha



富士山自然休養林（富士宮市）

エ 伐採・保育事業量

主 伐	27千m ³
間 伐	101千m ³
人工造林	105ha
天然更新	—
下 刈	309ha
つる切	92ha
除 伐	291ha
枝 打	—



ボランティアによる間伐作業
(富士市)

オ 林道の事業量

林道開設	11路線	19,645m
林道改良	17路線	3,480m



木材の有効活用による治山施設
(小山町)

カ 治山の事業量

保安林の整備	—
保全施設	37箇所

3 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、民有林に係る施策との一体的な推進を図りつつ、公益重視の管理経営の一層の推進に取り組むほか、我が国の森林・林業再生への貢献として、民有林と連携した施業、地域材の安定的・効率的な供給体制の構築に取り組みます。

このような、基本的な考え方に基づき、当計画区において以下の取り組みを推進します。

- (1) 森林の持つ公益的機能をより一層發揮するため、針広混交林化、複層林化など多様な森林づくりを推進します。
- (2) 地球温暖化防止に貢献する森林吸収量の確保のため、着実な間伐の実施に加え、主伐と主伐後の効率的な再造林等に積極的に取り組みます。
- (3) 生物多様性保全へ貢献するため、関係行政機関等と連携しつつ、原生的な森林生態系の保全・管理や渓畔林再生の取り組みを推進します。
- (4) 民有林と連携して施業を行う森林共同施業団地や路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで高効率な作業システムの普及などを通して、森林・林業の再生に取り組みます。
- (5) 林産物の供給等を通じて、地域の川上・川中・川下の関係者との連携を強化し、地域材の安定的・効率的な供給体制の構築に取り組みます。
- (6) 「国民の森林」として、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等の活動を支援します。
- (7) ニホンジカ等による獣害が発生していることから、民有林関係者と連携を図りつつ獣害対策を推進します。
- (8) 富士山山麓のヒノキ一斉大面積人工林における新たな森林施業を推進します。

(参考1)森林資源の現況

○市町村別森林面積等

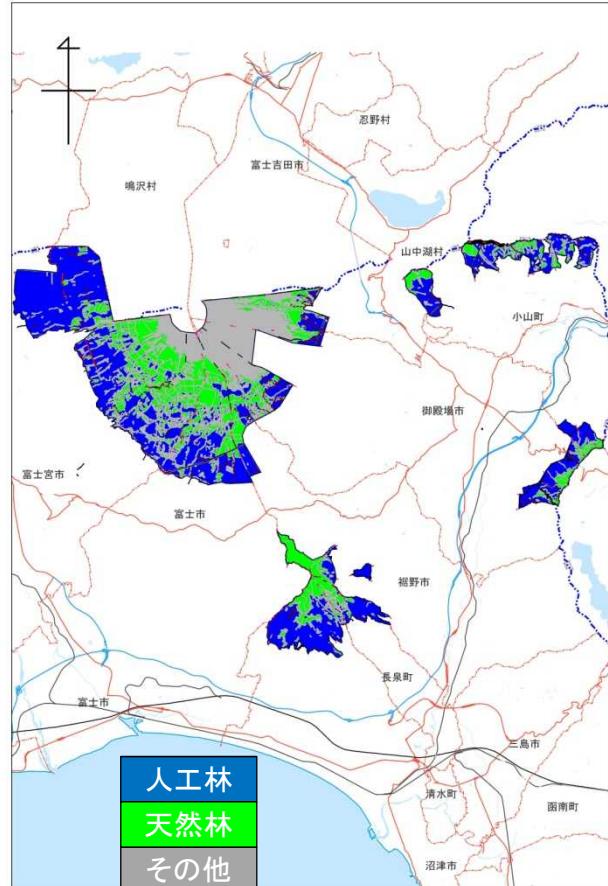
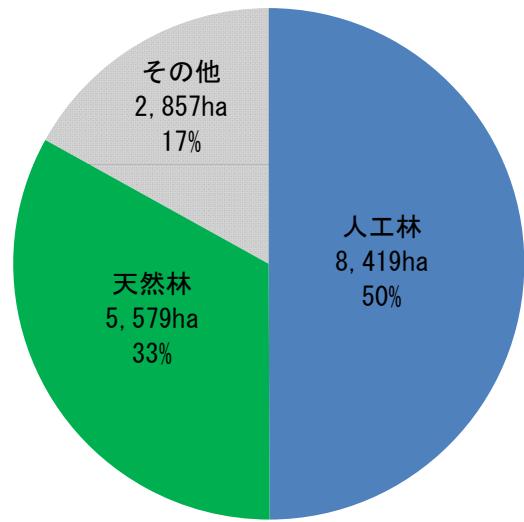
市町村名	市町村面積 A (ha)	森林面積 B (ha)	うち国有林 C (ha)	森林率 D=B/A (%)	国有林率 E=C/B (%)
三島市	6,213	2,378	—	38	—
沼津市	18,713	9,466	1,274	51	13
裾野市	13,817	8,774	1,200	64	14
御殿場市	19,485	11,016	2,110	57	19
富士市	24,502	12,135	1,915	50	16
富士宮市	38,899	25,548	6,923	66	27
清水市	884	89	—	10	—
長泉町	2,651	1,089	340	41	31
小山町	13,613	9,182	3,093	67	34
計	138,777	79,677	16,855	57	21

注) 1. 市町村面積は、平成25年度静岡県森林・林業統計要覧による。

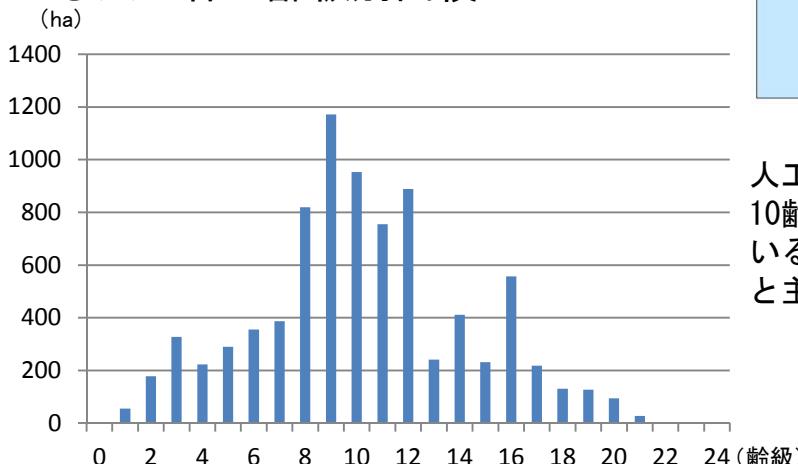
2. 森林面積は、国有林の地域別の森林計画書、国有林面積は、地域管理經營計画書の数値である。

3. 端数処理の関係で総数は一致しない場合がある。

○人工林・天然林別割合



○人工林の齢級別面積



人工林の齢級別では、8齢級(36年生)～10齢級(50年生)が多く、利用期を迎えている森林が多いことから、計画的な間伐と主伐を実施する必要があります。

(参考2)機能類型

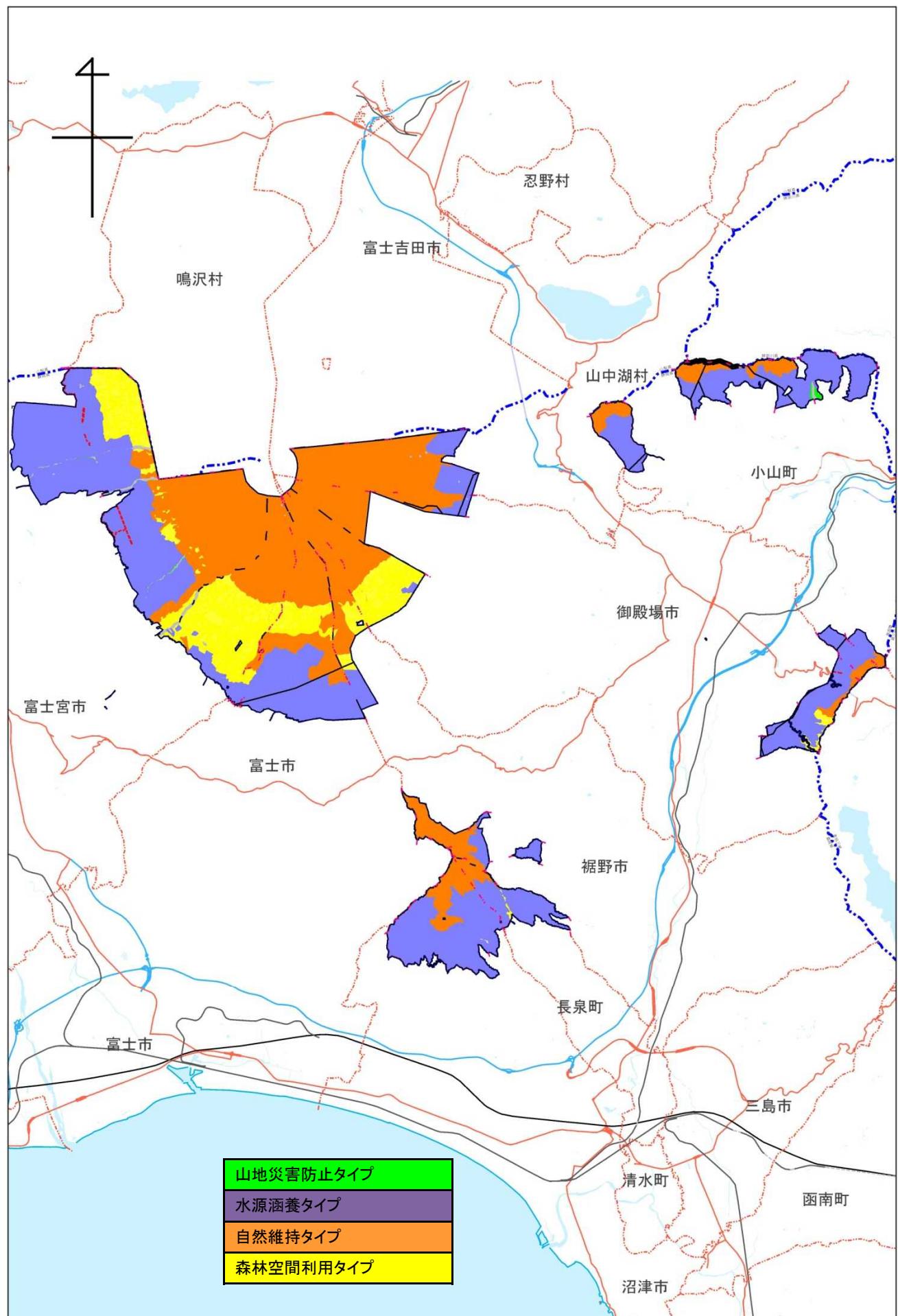
機能類型区分について

国有林を重視すべき機能に応じた機能類型に区分し、機能類型にふさわしい管理経営を推進

○機能類型区分

機能類型区分	機能類型区分の考え方	管理経営の考え方	比率
山地災害 防止タイプ	土砂流出・ 崩壊防備エリア	山地災害防止及び土壤保 全機能の発揮を第一とすべき森林	1%
	気象害防備 エリア		—
自然維持タイプ	原生的な森林生態系や希 少な動植物の生育・生息する 森林など生物多様性保全 機能の発揮を第一とすべき 森林	良好な自然環境を保持す る森林、希少な動植物の生 育・生息に適した森林の維 持	38%
森林空間利用タイプ	保健、レクリエーション、 文化機能の発揮を第一とすべき森林	保健・文化・教育的利用 の形態に応じた多様な森林 の維持・造成	16%
快適環境形成タイプ	快適な環境の形成機能の 発揮を第一とすべき森林	汚染物質の高い吸着能力、 抵抗性がある樹種から構成 される森林の維持	—
水源涵養タイプ	水源涵養機能の発揮を第一 とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長 期化、広葉樹の導入による 育成複層林への誘導等を推 進し、森林資源の有効活用 にも配慮	45%

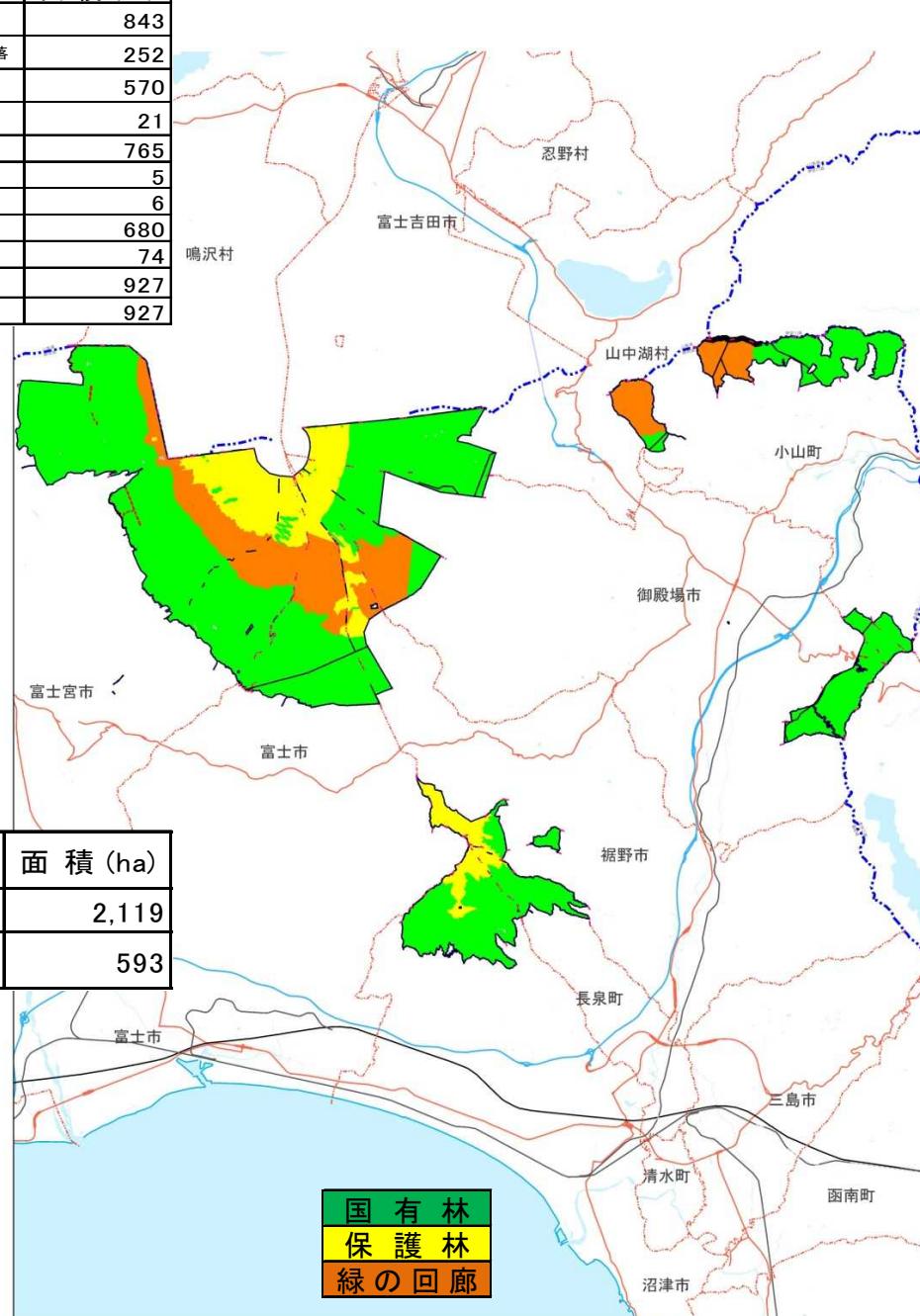
機能類型位置図



(参考3)保護林及び緑の回廊

区分	目的	箇所数	面積 (ha)
保護林	林木遺伝資源保存林	3	843
	植物群落保護林	4	765
	特定地理等保護林	1	927
緑の回廊	保護林と保護林を結ぶことで、野生動植物が移動し生活の場を広げ、より多様で充実した森林生態系の保全を図ること	2	2,712

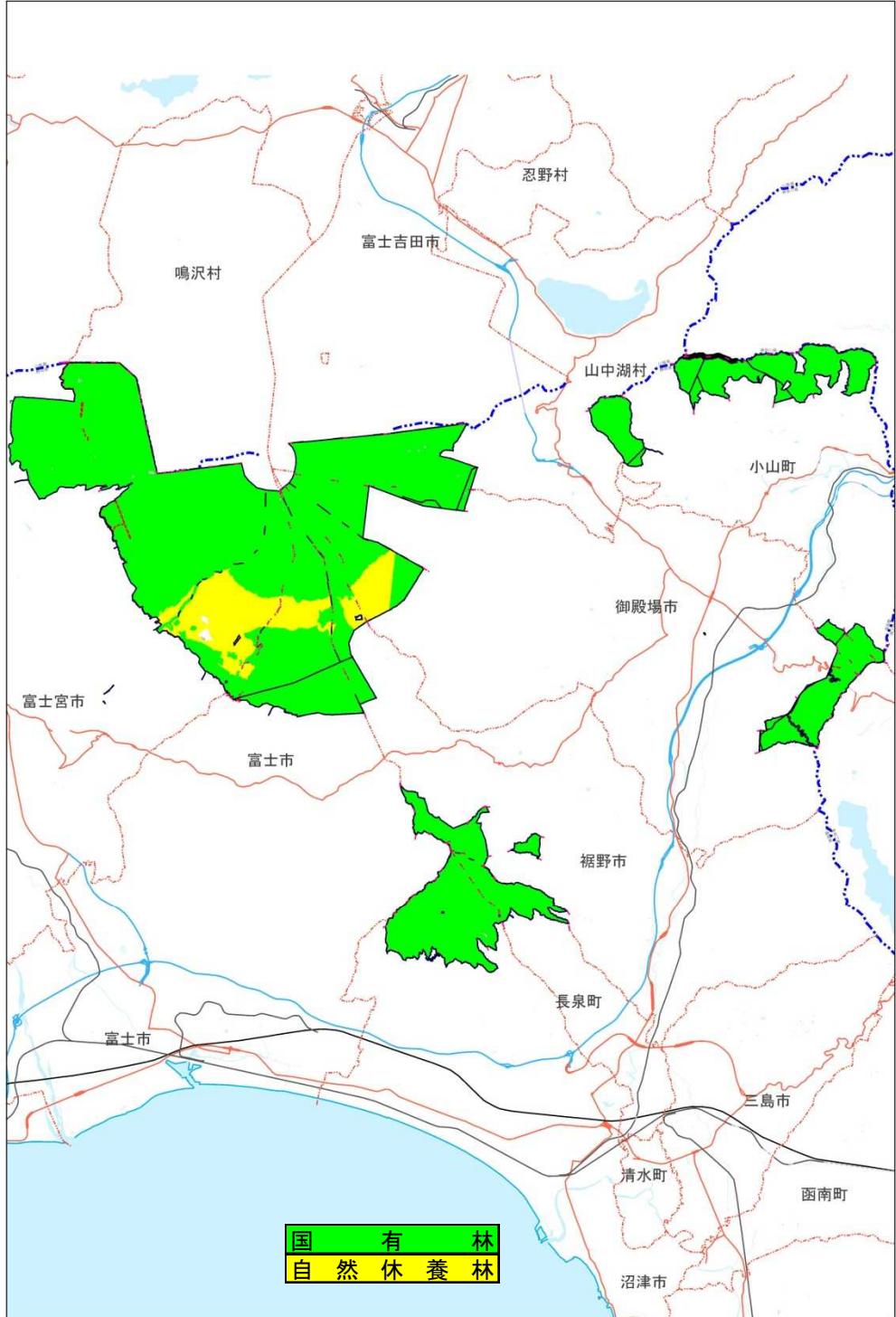
名称	面積 (ha)
林木遺伝資源保存林	843
富士山大沢カラマツ・イラモミ・ウラジロモミ群落	252
愛鷹山ブナ・スギ群落	570
浅木塚ヒノキ群落	21
植物群落保護林	765
富士山塘塚亜高山帯	5
富士山六番低山帯	6
富士山亜高山帯	680
富士山東臼塚低山帯	74
特定地理等保護林	927
富士山	927



(参考4)レクリエーションの森

種類	特徴	箇所数	面積 (ha)
自然休養林	特に風景が美しく、保健休養に適している森林です。自然探勝、登山、ハイキング、キャンプなど多様な森林レクリエーションを楽しむことができます。	1	1,765

名稱	面積 (ha)
富士山自然休養林	1,765



(参考5) 国民参加の森林づくり

種類	内容	箇所数	面積 (ha)
ふれあいの森	自主的な森林整備活動及びこれらの活動と一緒にとなって行う森林環境教育等のフィールドを提供しています。	4	20
社会貢献の森	企業等の社会的責任(CSR)活動等を目的とした森林整備を実施するフィールドを提供しています。	5	16
遊々の森	森林環境教育の推進を目的とした森林教室、体験活動などへのフィールドを提供しています。	1	3

富士山クラブ西臼塚ふれあいの森
(ふれあいの森)



ボランティアによるシカ食害対策
(富士宮市)

東富士湧水涵養の森
(社会貢献の森)



ボランティアによる植樹活動
(裾野市)

ブナ林創造事業
(社会貢献の森)



ボランティアによる下刈活動
(富士市)

